

空気を入れカエル

資料提供者

川口市立前川東小学校

資料の紹介

室内の換気を促すために各教室で使用している掲示物です。教室の対角線上の窓2か所に掲示しています。窓を開けると空気が流れ、カエルがゆらゆらと動きます。空気の動きが実感できるため、窓の開け忘れを防ぐことができます。また、児童への保健指導にも効果的です。



窓を開ける幅の目安表示と共に掲示

【材料】

- 画用紙
- セロテープ
- カラーペン等
- 紙テープ
- はさみ

【作り方】

- 1、カエルのイラストを画用紙に印刷し、切り抜く。左右対称のため半分に折って切ると作業が楽になります。口も切り抜くとかわいい表情になります。
- 2、紙テープを 30 cm 程度に切りセロテープで本体に貼る。
- 3、カラーペン等で目やメッセージなどを書く。

この型紙を 150% 拡大すると、ほぼ原寸大です。



【おすすめポイント】

保健指導ではあえて一方の窓を閉めて置き、換気の説明後に窓を開けます。すると空気が動き、カエルが動く様子がはっきりと分かるため児童から歓声が起こります。また、「空気を入れカエル」というダジャレも覚えやすく児童に好評です。

児童保健委員会でたくさん作り、各教室へ掲示しています。カエルにメッセージを書き込んだり、オリジナルのキャラクターを作ったりと児童の工夫も見られる活動として定着しています。